



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年8月8日

上場会社名 株式会社日本触媒

(URL <http://www.shokubai.co.jp/>)

(コード番号: 4114 東・大証第1部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 近藤忠夫

責任者役職・氏名 総務部長 内海勝議

TEL: (06) 6223-9111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)・法人税等の計上は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
 ・引当金の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 (内容) 連結(新規)0社(除外)0社 持分法(新規)1社(除外)0社

(百万円未満は四捨五入にて表示しております。)

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日~平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	63,029	18.1	5,779	△8.7	6,617	△10.6	3,824	△9.5
18年3月期第1四半期	53,386	24.2	6,332	65.3	7,404	60.3	4,225	42.4
(参考) 18年3月期	232,441	17.9	23,228	4.6	26,148	10.3	16,257	3.5

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	20	32	—	—
18年3月期第1四半期	22	19	—	—
(参考) 18年3月期	85	89	—	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
19年3月期第1四半期	297,645		172,455		56.6	894	65
18年3月期第1四半期	256,227		147,334		57.5	774	49
(参考) 18年3月期	291,564		164,631		56.5	875	00

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	2,426	△6,010	5,952	22,209
18年3月期第1四半期	6,425	△3,889	△1,034	25,830
(参考) 18年3月期	17,468	△20,663	△2,562	19,856

3. 平成19年3月期中間期の業績予想(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

連結業績予想

平成18年5月9日発表の中間連結業績予想を変更していません。(添付資料3ページ参照)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	124,000	11,500	6,800

(参考)1株当たり予想当期純利益(中間期)36円14銭

※上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

I 当第1四半期の経営成績

当第1四半期におけるわが国経済は、米国の景気減速懸念があるものの、個人消費や企業の設備投資などの内需を中心に堅調に推移しました。

化学工業界におきましては、上昇した原料価格の製品への価格転嫁が進んだものの、国際市況やアジア地域の需要の動向など、先行き不透明ななかで推移しました。

全体の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減		前 期
			(金 額)	(伸 び 率)	
売 上 高	53,386	63,029	9,642	18.1%	232,441
営 業 利 益	6,332	5,779	△553	△8.7%	23,228
経 常 利 益	7,404	6,617	△787	△10.6%	26,148
四半期(当期)純利益	4,225	3,824	△401	△9.5%	16,257
1株当たり四半期(当期)純利益	22.19円	20.32円	△1.87円	△8.4%	85.89円
ROA(総資産経常利益率)	11.7%	9.0%	—	△2.7ポイント	9.7%
ROE(自己資本当期純利益率)	11.6%	9.2%	—	△2.4ポイント	10.5%
為 替 (\$、EUR)	\$=¥107.73 EUR=¥135.47	\$=¥114.50 EUR=¥143.82		¥6.77 ¥8.35	\$=¥113.35 EUR=¥137.85
ナ フ サ 価 格	36,900円/kl	48,800円/kl		11,900円/kl	42,400円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

当社グループの当第1四半期の売上高は、需給バランスの緩みにより基礎化学品の一部の製品で市況が軟化してきているものの、販売数量の増加や原料価格の上昇を反映した販売価格の是正により、前第1四半期に比べて96億4千2百万円増収(18.1%)の630億2千9百万円となりました。

利益面につきましては、販売価格の是正や拡販に努めたものの、原料価格が高騰したため、営業利益は、前第1四半期に比べて5億5千3百万円減益(△8.7%)の57億7千9百万円となりました。

経常利益は、持分法による投資利益は増加したものの、金融収支などが悪化したため、前第1四半期に比べて7億8千7百万円減益(△10.6%)の66億1千7百万円となり、四半期純利益も、前第1四半期に比べて4億1百万円減益(△9.5%)の38億2千4百万円となりました。

なお、当第1四半期業績は、前期の平均四半期業績に対して、概ね前期並みに推移しております。

セグメント別の概況

◎事業の種類別

(基礎化学品事業)

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、市況が軟化してきているものの、需要が堅調に推移したことにより、増収となりました。

酸化エチレン、エタノールアミンおよび高級アルコール(商品名“ソフタノール”)は、需要が堅調に推移し、また、販売価格の是正も進んだことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、タイトな在庫状況のなかで販売数量を減少させ、また、市況も軟化したため、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前第1四半期に比べて4.7%増加し、243億3千2百万円となりました。

営業利益は、需要が堅調に推移するなかで、販売価格の是正に努めましたが、市況の軟化や原料価格の高騰による収益圧迫の影響が大きかったため、前第1四半期に比べて41.9%減少し、20億9千6百万円となりました。

(機能性化学品事業)

高吸水性樹脂は、世界的に需要が拡大するなかで、引き続き販売数量が増加し、また原料価格の高騰を反映した販売価格の是正も進んだことにより、増収となりました。

無水マレイン酸および粘接着剤・塗料用樹脂は、国内の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

特殊エステルおよびコンクリート混和剤用ポリマーは、国内外の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

樹脂改質剤および洗剤原料は、海外の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

有機・無機微粒子、粘着加工品、よう素化合物、医薬中間原料および不飽和ポリエステル樹脂は、ほぼ前第1四半期並みに推移しました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前第1四半期に比べて21.0%増加し、318億4千2百万円となりました。

営業利益は、原料価格の高騰による影響はあったものの、販売数量の増加や一部製品の販売価格の是正により、前第1四半期に比べて3.5%増加し、29億8千5百万円となりました。

(環境・触媒事業)

自動車触媒は、需要が堅調に推移したことにより、増収となりました。
 プロセス触媒は、国内の販売が増加したことにより、増収となりました。
 排水処理装置および触媒は、大型の装置を販売したことにより、増収となりました。
 脱硝触媒ならびに排ガス処理装置および触媒は、ほぼ前第1四半期並みに推移しました。
 以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前第1四半期に比べて79.0%増加し、68億5千6百万円となりました。
 営業利益は、主に販売数量の増加により、前第1四半期に比べて4億5千9百万円増加し、5億1千万円となりました。

◎所在地別**(日本)**

環境・触媒事業の大幅な増収に加え、基礎化学品や機能性化学品の販売価格の是正や拡販により、売上高は前第1四半期に比べて14.9%増加し、441億9千5百万円となりました。
 営業利益は、増販効果があったものの、原料価格が高騰したため、前第1四半期に比べて5.5%減少し、41億9千2百万円となりました。

(欧州)

高吸水性樹脂の販売が順調に推移したことにより、売上高は前第1四半期に比べて18.3%増加し、72億4千6百万円となりました。
 営業利益は、販売価格の是正があったものの、原料価格が高騰したため、前第1四半期に比べて48.8%減少し、1億5千6百万円となりました。

(アジア)

アクリル酸およびアクリル酸エステルの市況が軟化してきているものの、高吸水性樹脂の販売数量が増加したことにより、売上高は前第1四半期に比べて13.9%増加し、72億5千4百万円となりました。
 営業利益は、増販効果があったものの、市況の軟化や原料価格の高騰による収益圧迫の影響が大きかったため、前第1四半期に比べて71.5%減少し、4億4千万円となりました。

(その他の地域)

高吸水性樹脂や洗剤原料などの機能性化学品の販売数量が増加したことにより、売上高は前第1四半期に比べて77.3%増加し、43億3千5百万円となりました。
 営業利益は、原料価格が高騰したものの、増販効果や販売価格の是正により、前第1四半期に比べて2億8千9百万円増加し、1億8千6百万円となりました。

II 当第1四半期の財政状態

設備投資などの投資活動によるキャッシュ・フローの支出が、営業活動によるキャッシュ・フローを上回ったため、新規借入れなどの財務活動によるキャッシュ・フローでの収入で賄った結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて23億5千3百万円増加の222億9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期の64億2千5百万円の収入に対し、24億2千6百万円の収入となりました。売上債権の増加および仕入債務の減少や、法人税等の支払額が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期の38億8千9百万円の支出に対し、60億1千万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期の10億3千4百万円の支出に対し、59億5千2百万円の収入となりました。借入れによる収入が増加したことや自己株式の取得による支出が減少したことなどによるものです。

III 中間期の業績見通し

当第1四半期業績は、当初(平成18年3月期決算発表時)の中間期の業績予想に対し売上高50.8%、経常利益57.5%、中間純利益56.2%の進捗で順調に推移しており、中間期の業績予想は、当初の計画通りで、変更はありません。

以 上

〔添付資料〕

1. 第1四半期連結財務諸表等

(1) 要約連結貸借対照表

(単位 金額：百万円 構成比：%)

科 目	前第1四半期末 (H17.6.30)		当第1四半期末 (H18.6.30)		増 減	前連結会計年度末 (H18.3.31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
[資 産 の 部]							
< 流 動 資 産 >	<118,009>	46.1	<128,786>	43.3	<10,778>	<125,914>	43.2
現金及び預金	25,863		22,424		△3,439	20,079	
受取手形及び売掛金	51,847		58,667		6,820	57,444	
たな卸資産	31,691		38,962		7,272	38,705	
その他	8,608		8,732		124	9,686	
< 固 定 資 産 >	<138,218>	53.9	<168,859>	56.7	<30,640>	<165,650>	56.8
有形固定資産	88,844		109,270		20,426	105,089	
無形固定資産	3,145		2,425		△720	2,595	
投資その他の資産	46,230		57,164		10,934	57,966	
資 産 合 計	256,227	100.0	297,645	100.0	41,418	291,564	100.0
[負 債 の 部]							
< 流 動 負 債 >	<69,659>	27.2	<82,177>	27.6	<12,518>	<80,707>	27.6
支払手形及び買掛金	37,974		39,375		1,401	40,143	
短期借入金	8,124		16,339		8,215	11,538	
1年内に返済する 長期借入金	6,019		5,342		△677	5,317	
その他	17,542		21,121		3,579	23,709	
< 固 定 負 債 >	<35,540>	13.9	<43,013>	14.5	<7,473>	<42,153>	14.5
社 債	5,000		5,000		—	5,000	
長期借入金	21,293		26,156		4,863	23,363	
その他	9,247		11,857		2,610	13,790	
負 債 合 計	105,199	41.1	125,190	42.1	19,991	122,860	42.1
[少 数 株 主 持 分]							
< 少 数 株 主 持 分 >	<3,694>	1.4	<—>	—	<—>	<4,073>	1.4
[資 本 の 部]							
< 資 本 金 >	<16,529>	6.5	<—>	—	<—>	<16,529>	5.7
< 資 本 剰 余 金 >	<13,565>	5.3	<—>	—	<—>	<13,565>	4.7
< 利 益 剰 余 金 >	<115,070>	44.9	<—>	—	<—>	<125,684>	43.0
< そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 >	<5,662>	2.2	<—>	—	<—>	<12,259>	4.2
< 為 替 換 算 調 整 勘 定 >	<△507>	△0.2	<—>	—	<—>	<1,939>	0.7
< 自 己 株 式 >	<△2,987>	△1.2	<—>	—	<—>	<△5,346>	△1.8
資 本 合 計	147,334	57.5	—	—	—	164,631	56.5
負債、少数株主持分 及び資本合計	256,227	100.0	—	—	—	291,564	100.0
[純 資 産 の 部]							
< 株 主 資 本 >	<—>	—	<156,417>	52.6	<—>	<—>	—
資 本 金	—		16,529		—	—	
資 本 剰 余 金	—		13,565		—	—	
利 益 剰 余 金	—		131,679		—	—	
自 己 株 式	—		△5,357		—	—	
< 評 価 ・ 換 算 差 額 等 >	<—>	—	<11,905>	4.0	<—>	<—>	—
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	—		9,451		—	—	
為 替 換 算 調 整 勘 定	—		2,454		—	—	
< 少 数 株 主 持 分 >	<—>	—	<4,134>	1.3	<—>	<—>	—
純 資 産 合 計	—	—	172,455	57.9	—	—	—
負債及び純資産合計	—	—	297,645	100.0	—	—	—

(2) 要約連結損益計算書

(単位 金額：百万円 百分比：%)

科 目	期 別		前第1四半期 (H17.4.1~H17.6.30)		当第1四半期 (H18.4.1~H18.6.30)		増 減	前連結会計年度 (H17.4.1~H18.3.31)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比			
売上高	53,386	100.0	63,029	100.0	9,642	232,441	100.0		
売上原価	39,449	73.9	49,016	77.8	9,567	176,253	75.8		
売上総利益	13,937	26.1	14,012	22.2	76	56,188	24.2		
販売費及び一般管理費	7,605	14.2	8,234	13.0	628	32,960	14.2		
営業利益	6,332	11.9	5,779	9.2	△553	23,228	10.0		
営業外収益	1,610	3.0	1,290	2.0	△321	6,173	2.6		
営業外費用	538	1.0	452	0.7	△86	3,254	1.4		
経常利益	7,404	13.9	6,617	10.5	△787	26,148	11.2		
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,404	13.9	6,617	10.5	△787	26,148	11.2		
法人税等	3,017	5.7	2,738	4.3	△279	9,738	4.1		
少数株主利益	162	0.3	55	0.1	△108	153	0.1		
四半期(当期)純利益	4,225	7.9	3,824	6.1	△401	16,257	7.0		

(3) 要約連結剰余金計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第 1 四半期 (H17. 4. 1～H17. 6. 30)	当第 1 四半期 (H18. 4. 1～H18. 6. 30)	前連結会計年度 (H17. 4. 1～H18. 3. 31)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	(13,565)	(—)	(13,565)
資本剰余金増加高	(0)	(—)	(0)
自己株式処分差益	0	—	0
資本剰余金四半期末(期末)残高	(13,565)	(—)	(13,565)
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	(112,496)	(—)	(112,496)
利益剰余金増加高	(4,225)	(—)	(16,257)
四半期(当期)純利益	4,225	—	16,257
利益剰余金減少高	(1,651)	(—)	(3,070)
配当金	1,526	—	2,945
取締役及び監査役賞与	125	—	125
利益剰余金四半期末(期末)残高	(115,070)	(—)	(125,684)

(4) 要約連結株主資本等変動計算書

当第1四半期 (H18. 4. 1~H18. 6. 30)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	16,529	13,565	125,684	△5,346	150,432
当四半期変動額					
剰余金の配当	—	—	△1,599	—	△1,599
四半期純利益	—	—	3,824	—	3,824
自己株式の取得	—	—	—	△10	△10
持分法適用関連会社の増加	—	—	3,771	—	3,771
株主資本以外の項目の 当四半期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期変動額合計	—	—	5,995	△10	5,985
当四半期末残高	16,529	13,565	131,679	△5,357	156,417

(単位：百万円)

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	12,259	1,939	14,199	4,073	168,704
当四半期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△1,599
四半期純利益	—	—	—	—	3,824
自己株式の取得	—	—	—	—	△10
持分法適用関連会社の増加	—	—	—	—	3,771
株主資本以外の項目の 当四半期変動額(純額)	△2,808	515	△2,294	60	△2,234
当四半期変動額合計	△2,808	515	△2,294	60	3,751
当四半期末残高	9,451	2,454	11,905	4,134	172,455

(5) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期 (H17. 4. 1~H17. 6. 30)	当第1四半期 (H18. 4. 1~H18. 6. 30)	増 減	前連結会計年度 (H17. 4. 1~H18. 3. 31)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー					
税金等調整前四半期（当期）純利益		7,404	6,617	△787	26,148
減 価 償 却 費		1,957	2,474	517	9,349
売上債権の減少額又は増加額（△）		1,199	△1,186	△2,385	△3,646
たな卸資産の減少額又は増加額（△）		△1,946	△187	1,759	△8,012
仕入債務の増加額又は減少額（△）		1,095	△885	△1,981	2,719
そ の 他		347	△298	△644	△355
小 計		10,056	6,535	△3,522	26,203
法人税等の支払額		△4,629	△5,130	△501	△9,597
そ の 他		997	1,021	24	862
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,425	2,426	△3,999	17,468
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー					
有形固定資産の取得による支出		△4,207	△5,775	△1,568	△22,105
出資金の出資等による支出		△128	△209	△82	△185
貸付けによる支出		△220	△50	170	△215
貸付金の回収による収入		632	290	△342	1,375
そ の 他		34	△265	△299	466
投資活動によるキャッシュ・フロー		△3,889	△6,010	△2,121	△20,663
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入金の純増減額		1,151	4,817	3,666	4,448
長期借入れによる収入		1,625	4,100	2,475	7,609
長期借入金の返済による支出		△1,785	△1,340	445	△8,815
配当金の支払額		△1,526	△1,599	△73	△2,945
自己株式の取得による支出		△482	△10	472	△2,843
そ の 他		△17	△15	2	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,034	5,952	6,986	△2,562
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		168	△15	△183	866
V. 現金及び現金同等物の増減額		1,670	2,353	684	△4,891
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		24,160	19,856	△4,304	24,160
VII. 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	—	—	587
VIII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		25,830	22,209	△3,621	19,856

2. セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合 計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	23,233	26,324	3,829	53,386	—	53,386
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,616	92	409	4,118	(4,118)	—
計	26,849	26,416	4,239	57,504	(4,118)	53,386
営業費用	23,244	23,532	4,188	50,964	(3,910)	47,055
営業利益	3,605	2,884	51	6,540	(208)	6,332

当第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合 計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	24,332	31,842	6,856	63,029	—	63,029
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,384	148	76	4,608	(4,608)	—
計	28,716	31,989	6,931	67,636	(4,608)	63,029
営業費用	26,620	29,004	6,421	62,045	(4,795)	57,250
営業利益	2,096	2,985	510	5,591	188	5,779

前連結会計年度（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合 計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	94,095	116,300	22,046	232,441	—	232,441
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,063	460	1,302	18,825	(18,825)	—
計	111,158	116,760	23,348	251,266	(18,825)	232,441
営業費用	100,000	107,498	20,226	227,724	(18,511)	209,213
営業利益	11,158	9,262	3,123	23,542	(314)	23,228

(注) 1. 事業区分は、事業の種類・性質の類似性等を勘案して決定しております。

2. 各事業区分の主な製品

- | | |
|-------------|--|
| (1)基礎化学品事業 | アクリル酸、アクリル酸エステル、酸化エチレン、エチレングリコール、エタノールアミン、高級アルコール |
| (2)機能性化学品事業 | 高吸水性樹脂、医薬中間原料、コンクリート混和剤用ポリマー、有機・無機微粒子、よう素、無水マレイン酸、不飽和ポリエステル樹脂、粘接着剤・塗料用樹脂、樹脂成形品、粘着加工品 |
| (3)環境・触媒事業 | 自動車触媒、脱硝触媒、ダイオキシン類分解触媒、プロセス触媒、排ガス処理装置 |

(2) 所在地別セグメント情報

前第1四半期(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	38,450	6,126	6,366	2,445	53,386	—	53,386
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,639	13	66	17	4,735	(4,735)	—
計	43,089	6,139	6,432	2,462	58,122	(4,735)	53,386
営業費用	38,651	5,835	4,888	2,565	51,940	(4,885)	47,055
営業利益又は営業損失(△)	4,438	304	1,543	△103	6,182	150	6,332

当第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	44,195	7,246	7,254	4,335	63,029	—	63,029
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,243	15	7	8	5,273	(5,273)	—
計	49,438	7,261	7,261	4,343	68,302	(5,273)	63,029
営業費用	45,246	7,105	6,821	4,157	63,329	(6,079)	57,250
営業利益	4,192	156	440	186	4,973	806	5,779

前連結会計年度(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	168,773	23,935	27,405	12,329	232,441	—	232,441
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	19,061	61	935	81	20,137	(20,137)	—
計	187,834	23,996	28,339	12,409	252,578	(20,137)	232,441
営業費用	167,483	23,789	24,676	13,727	229,676	(20,463)	209,213
営業利益又は営業損失(△)	20,350	207	3,663	△1,318	22,902	326	23,228

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州 ……………ベルギー
 (2) アジア ……………シンガポール、インドネシア、中国
 (3) その他の地域 北米……米国

(3) 海外売上高

前第1四半期 (平成17年4月1日～平成17年6月30日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	11,393	7,815	3,591	1,498	24,298
II 連結売上高					53,386
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	21.3%	14.7%	6.7%	2.8%	45.5%

当第1四半期 (平成18年4月1日～平成18年6月30日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	12,620	9,179	5,809	2,018	29,626
II 連結売上高					63,029
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	20.0%	14.6%	9.2%	3.2%	47.0%

前連結会計年度 (平成17年4月1日～平成18年3月31日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	48,385	32,788	18,623	6,958	106,754
II 連結売上高					232,441
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	20.8%	14.1%	8.0%	3.0%	45.9%

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
- (1) アジア 東アジア及び東南アジア諸国
 - (2) 欧州 ヨーロッパ諸国
 - (3) 北米 北アメリカ諸国
 - (4) その他の地域 アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。